

スナック菓子「ハッピーターン」から再現する地震活動 Seismicity of the soft rice cracker, 'Happy Turn'

*牧野 莉央¹

*Rio Makino¹

1. 東京都立両国高等学校

1. Tokyo Metropolitan Ryogoku High School

2016年4月14日21時26分に熊本県熊本地方でM（マグニチュード）6.5の地震が発生し、震度7が記録された。その後の余震活動に続いて16日1時25分には、より大きいM7.3のイベントが発生し、熊本県周辺の狭い範囲で地震が続いた。このような狭い地域に引き続いて起こる大きな地震に興味をもち、実験で類似する現象の再現を試みた。実験では高野豆腐などの試料を万力で加圧し、発生する破壊音を記録する。そしてその音を地震ととらえて波形を解析し、大きさと発生した時間を数値化した。その結果、スナック菓子のハッピーターンによる試行で「平成28年熊本地震」の地震活動に最も似た現象が見られた。このデータから求めたグーテンベルク=リヒターの式による解析結果について考察を加えて報告する。

キーワード：地震、スナック菓子

Keywords: Earthquake , Snacks

